

# 新年度一般会計予算、全会一致で可決

## 合併後初めて日本共産党議員団も賛成

3月議会の最終日、3月26日。提出された議案についての討論、採決が行われました。

新年度上越市一般会計予算は、市民の暮らしを守る立場で主張してきた重要な政策を実現するものとなっていることから、日本共産党議員団も賛成し、全会一致での可決となりました。

なお、3年連続値上げとなる「介護保険特別会計」は、市民負担軽減の立場から、日本共産党議員団は反対しました。この他に、日本共産党議員団は反対しました。この他に、市民から出された4本の請願が審議されましたが、いずれも反対多数で採択に至りませんでした。

### スクールバス無料化などを評価

賛成討論に立った日本共産党議員団の平良木議員は、「(私たち議員団が)長年にわたり市民生活を守るために掲げてきた政策の中でも、特に重視してきた政策を複数にわたり実現する予算案となって」おり、「この点を高く評価す

る」として3つの施策についてふれました。

そのひとつは、スクールバスの運行制度の維持と父母負担の無料化です。合併協議では、今年度から旧上越に合わせ有料化するとしていたものですが、無料化を求める地域協議会の働きかけや議会での私や上野議員、柳沢議員(市民クラブ)などの質問が実りました。平良木議員は、「多くの市民の切実な願いに応え、市民本位に修正するもの」であり、この「姿勢はきわめて重要」だとして評価しました。

2つめは「中山間地域における集落の暮らしを守り、活力の維持・向上を図るための地域集落支援事業」です。集落調査の対象を60歳以上が過半数を占める集落にまで広げたことは全国の先進を行くものです。

3つ目は、国民健康保険特別会計への引き続く(一般会計からの)法定外繰入れ(昨年度4億3千万円、今年度2億円)です。これによって、「国保税の値上がりを抑えたことは、国保加入者のみならず、全ての市民への大きな励まし」だとのべました。

### 民間委託の推進などに懸念表明

平良木議員はその一方で、行政のアウトソーシングに道を開く「学校給食の民間委託推進は危険」だと懸念を表明、「根本的な見直しに向けて最大限の努力をすべきだ」と訴えました。

また、市長の公約として、今年度から検討が進められる(仮称)厚生産業会館や新水族館などは市民合意が必要だとのべ、「市民生活を圧迫しないよう数年間を見通した財政計画を提示

した上での計画策定とすべき」で「経済活動の地域内循環を念頭」において「住民参加で運営できるものにしていくことが重要だ」と指摘しました。

### 第三セクターの経営統合打ち出す

上越市第三セクター経営検討委員会は31日、市内にある第三セクターの経営の現状分析結果と今後の方向性についてまとめ、村山市長に提出しました。

現状分析では、全体として「競合と売上げの減少」「施設設置目的の変質」「経営管理体制のせい弱性」などが問題視されました。

個々の第三セクターの分析では「施設稼働率は年々悪化し、売上も減少傾向」「施設稼働率が把握されていない。広告宣伝が不十分」など厳しい指摘がいくつもありません。

同委員会は今後の方向性として、必要な経営力・財務力を養うため、第三セクターの経営統合(持株会社化)を打ち出しました。

シリーズ 上越市内の橋

第33回

虫川橋

「虫川橋」と書いて「おしかわばし」と読みます。主要地方道飯山浦川原線にあります。川は保倉川。

有名な虫川大杉はこの橋の南東方向、約400メートルほどのところにあります。ほくほく線虫川大杉駅はすぐそば。駅構内のアナウンスは橋のたもとでも聞こえてきます。

河川改修し、保倉川の川幅は広く、橋長は約32メートルあります。竣工は1990年(平成2年)11月です。



3月30日、大島区嶺地内の苗代除雪の現地調査をしてきました。

4月11日には苗出しをしなければならぬというのに積雪はまだ1メートル70センチもありました。苗代用地は約30アール、全部除雪するのに40万円ほどかかるそうです。

県や市の除雪費補助が必要不可欠です。

